

ふくしま便り

No. 13

2017年9月29日発行

9月号

日本生協連
組合員活動部

9月20日、福島市から川俣町を通り、浪江町を結ぶ国道114号線が、6年半ぶりに再開通しました。帰還困難区域を通る約27キロメートルを一般車両で走行できます。ただし2輪車、歩行者が通行できないことは、沿岸部の国道6号線と同じです。報道によれば、空間線量の最大値は5.53 μ Sv/hだそうです。通行できても、まだ住むことはできません。



富岡町仮設住宅の夏祭りに参加しました ～ 8/26 郡山緑ヶ丘仮設住宅 ～

8/26 お祭り前日の夜から、大雨…！大丈夫かなと思っていたら、お祭りが始まる時には、すっきりとした青空が広がりました。この夏祭りは、ソニー生命保険㈱の社員ボランティアの人たちが被災者を支援する催しとして、仮設住宅開設以来取り組んでいるそうです。今回は第6回目にあたります。コープふくしまもずっとサロン活動を続けてきたご縁から、今回の夏祭りに参加しました。コープぎふの理事、役職員5名が訪れ、岐阜のソウルフード「五平餅」80食分を振舞いました。

夏祭りはバンドあり、屋台の出店ありで、地元高校生のフラガールも登場し、プロ並みの踊りに祭りは最高に盛り上がりました。

郡山緑ヶ丘仮設住宅は、富岡町の住宅です。自治会長さんはじめ大人から子どもまで30名を超える住民の方が楽しいひと時を過ごしました。

コープぎふさんの出店



高校生フラガール



コープふくしまのみなさん



公営住宅（復興団地）でNPOと茶話会を開催 ～ 8/18 郡山鶴見担団地 ～

8/18 郡山市内にある鶴見担団地の集会所をお借りして、NPO みんなくからの依頼を受けて茶話会を開催しました。男性の方も含めた14名の住民が参加しました。大型絵本の読み聞かせ、さかなつりゲームを行いスタッフと一緒に楽しんだ後、ポップコーン機でポップコーンをつくり、出来立てを食べていただきました。

福井県民生協、コープうらがから頂いたお菓子、手作り品をお渡ししました。





和紙で絵皿づくり ～ 9/11 浪江町北幹線仮設住宅 ～



9/11 ユーコープ（神奈川県本部）から4名の方が訪れ、住民9名の方と交流しました。秦野、小田原などそれぞれの地元を紹介していただき、神奈川の様子を思い浮かべました。また、代表の方が手品を披露し、あざやかに決まると大きな拍手が起こりました。

ユーコープの指導で和紙の絵皿づくりをみんなで行いました。四角と丸のペーパープレートに様々な絵柄の和紙を貼り付けます。それぞれにきれいに仕上がった絵皿を見て、使い方、飾り方をいろいろとおしゃべりしながら交流しました。



福島現状を知る 視察と学習会

- 9/1 みやぎ生協が被災地を訪問しました。
- 9/6 みやぎ生協が被災地を訪問しました。
- 9/7 ユーコープ（山梨県本部）が被災地を訪問しました。
- 9/11 ユーコープ（神奈川県本部）が浪江町北幹線仮設住宅を訪問しました。
- 9/19-20 コープみえが被災地と双葉町日和田高倉仮設住宅を訪問しました。



知っていますか？ ～ 東電福島第一原発の廃炉作業 ② ～

前号に載せた「4号機のサブドレンの水位が一時低下し、汚染水漏れの恐れがあった」との報道についてです。イチエフの廃炉作業で重要なことの一つに汚染水対策があります。サブドレンとは井戸の事です。事故後は原子炉建屋に流れ込む地下水の量をコントロールしていました。井戸の水位が低下すると建屋の水位が相対的に高くなり、高濃度汚染水が水位の低い方（井戸）へ流れてしまいます。今回の水位の低下は、古くなった井戸の側に新しい井戸を掘ったことが原因とされています。

この原稿を書いている最中（9/29）、新たに「井戸の水位計の設定が誤っていた」との報道がありました。管理には万全を期してもらいたいものです！

**サロンに
おじゃま
しました！**

双葉町郡山日和田高倉仮設住宅お茶会
コープみえから4名がお茶会に訪れました。
最初に、三重県というのを想像するか？
“伊勢神宮”、“伊勢海老”、“松坂牛”、“真珠”

…けっこう上がります。「伊賀の忍者、実は甲賀忍者とはそんなに仲が悪くなかったんですよ。」というお話しに「へえ～！！」。地図を示しながら三重県についてご紹介いただきました。次に芸の登場、お笑い亭ケラケラさんが“にわか落語”を披露してくれました。芸達者に結構盛り上がりました。

-住吉-



え～、一席お付き
合い願います。

発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

住吉 小池